



未来に向かって飛びだそう！
佐織西中学校祭



愛西市

AISAI CITY
ASSEMBLY

議会だより

No.50
2017.11.1

9
月
定
例
会

| | |
|----------------------------------|----|
| 特集 道の駅周辺整備へ基金設置 | 2 |
| 議論の中から新発見 | 4 |
| ～市政を問う～ 一般質問 | 6 |
| 取材しました！愛西市学校生活適応指導教室「すまいる」 | 18 |

12月議会
放映のお知らせ

| 会議日 | 内容 | クローバーTV放映日時(チャンネル121) |
|----------|------|-----------------------|
| 12月5日(火) | 一般質問 | 12月14日(木)午前10時～・午後7時～ |
| 12月6日(水) | 一般質問 | 12月15日(金)午前10時～・午後7時～ |

の里(道の駅)へ基金設置

及び管理に関する条例・一般会計補正予算

●3000万円の寄付 基金へ積み立て

立田ふれあいの里運営連絡協議会から、「道の駅」整備のために3000万円の寄付がありました。

市は、この寄付金を「立田地域交流拠点施設整備基金」に積み立て、道の駅と周辺の環境整備に使う考えです。

寄付者の意向は

Q 寄付の経緯と寄付者の意向は。

A 平成16年12月にオープンして以来、施設も13年目に入り、会員から改修等の要望の声も聞かれるようになった。市に寄り、道の駅施設の整備に活用する目的として寄付を役員会・臨時総会を経て、5月の総会で決まった。27年度の要望書の中で駐車場の拡張整備や産直施設の増改築、テナントのリニューアルな

どを求められた。

基金の目標は

Q 基金を積み目標金額は決めているのか。

A 具体的な改修等の計画が立っていないことから、改修費を見据えた積み立てではなく、道の駅施設整備の財源として活用させてもらう。具体的な時期や内容も決まっておらず、目標額も定めていない。

整備計画の範囲は

Q 川沿いの東側の蓮田等を含めた、周辺一帯を考えたような計画になっているのか。

A 蓮田のほうも含めた基金条例だが、現在は具体的な活用は決まっていない。蓮田も含めた全体計画を立てるには、道の駅周辺も含めた調査が必

要となるが、解決しなければならぬ課題も多い。

利用料金を統一

Q 産直施設と地域特産品供給施設でなぜ料金が変わっていたのか。

A 利用料金は、最寄りの産直施設や他のテナント利用料も参考に決まっていたが、地域特産品供給施設は豊富なメニューの提供や接客業務もあることから、業者の方が安心してできるようリスクの低い利用料金になっていた。しかし、経営も安定してきたことから、利用料金を統一させて

〔一般会計補正予算〕

一般会計(第2号)

〈補正額〉2億1340万

5千円

〈総額〉206億783

7万1千円



▲周辺整備も期待される道の駅「立田ふれあいの里」

立田ふれあい 周辺整備

立田地域交流拠点施設整備基金条例・設置

●雀ヶ森最終処分場の 廃止へ改修工事

雀ヶ森町(立田地区)の一般廃棄物最終処分場の廃止へ法律に適合化させるための対策工事に、工事監理委託料として約298万円、工事請負費として8394万円を計上しました。

Q 最終処分場の工事の方法は。

A 最終処分場廃止対策で、浸出水集水設備を設け、縦型集水管と水中ポンプを2力所設置し、浸出水を集める調整タンクを3基、雨水排水側溝、電気計装設備、配管設備を設ける。

●就学援助入学準備金 前倒し支給・額も増額

準要保護新入学児童・生徒学用品費

●小学校新入学児童

支給額1万9,900円→4万600円

●中学校新入学生徒

支給額2万2,900円→4万7,400円

準要保護児童・生徒就学援助費のうち、新入学学用品費の支給単価と支給時期の見直しを行い、支給時期を入学後の7月から入学前の3月に前倒します。また、今年度入学者に差額を支給します。

Q 新入学児童・生徒学用品費の前倒しの理由、増額の理由は。

A 平成29年4月の県通

知で、入学する年度前に支給した新入学学用品費についても国庫補助対象となった。また、必要な援助を適切な時期に実施してほしいとの記載があった。また、29年度より、要保護の新入学学用品費の国家予算単価が、増額された。

Q 救急車1台を新規購入

A 当初予算で計上しな

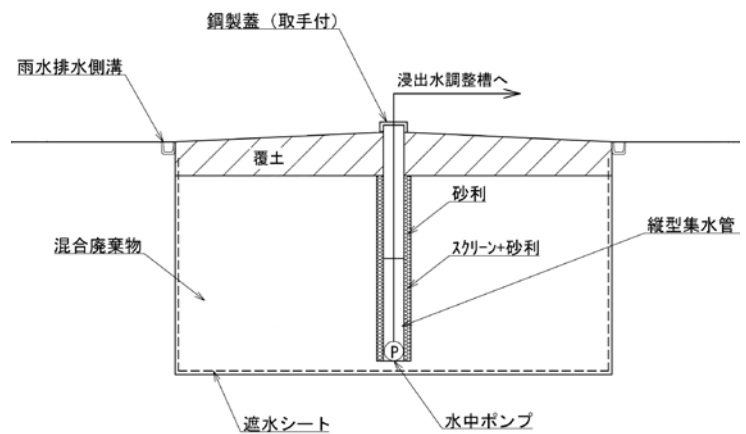
かった理由は。

A 市の大切な財産であるため、少しでも大切に長く運用した。

愛西の里さや・はちかいの屋根改修工事

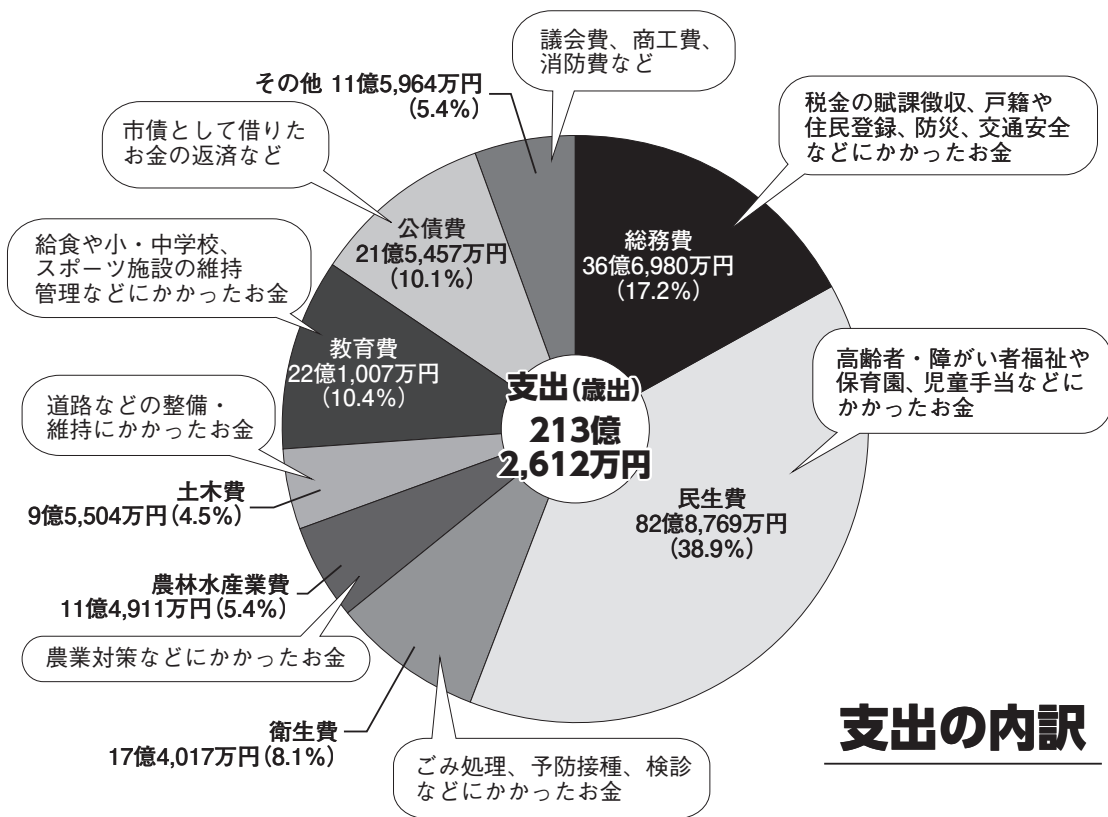
Q 障害者就労支援施設改修工事に至った経緯は。

A 社会福祉会館、障害者就労支援施設の経年劣化による。



▲雀ヶ森最終処分場の工事図面(断面図)

議論の中から新発見



▲改修された佐織支所

◆公共施設等総合管理計画が策定されました
事業費544万円
(自主財源)

Q 策定方法と今後は。

A 公共施設等の更新・統廃合、長寿命化等を図るため、総合管理計画が27、28年度で策定された。

策定期間中に、市民の理解を深めるために、市内の18歳以上の1500人を対象にした、本市の公共施設等を取り巻く実情や課題を捉えていただくためのアンケートを実施した。

また、28年10月3日から1カ月間、パブリックコメントを実施し、29年1月19日にホームページに公表した。周知、説明については、「広報あいさい」等で周知を図った。

今後目標を達成するため、施設の利用者や市民に説明会等、施設に依りて開催していきたい。

◆がん検診を推進しました
事業費9382万円
(内交付金等145万円)

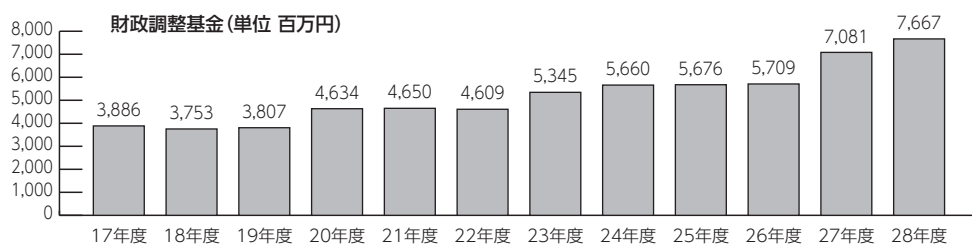
Q 検診の成果は。

A インターネットによる申し込みの追加や検診日の託児を実施するなどして、受診率向上を図った。

集団検診で早期発見者の数は、乳がん検診で2人、大腸がん検診で1人、前立腺がん検診で3人という状況であった。

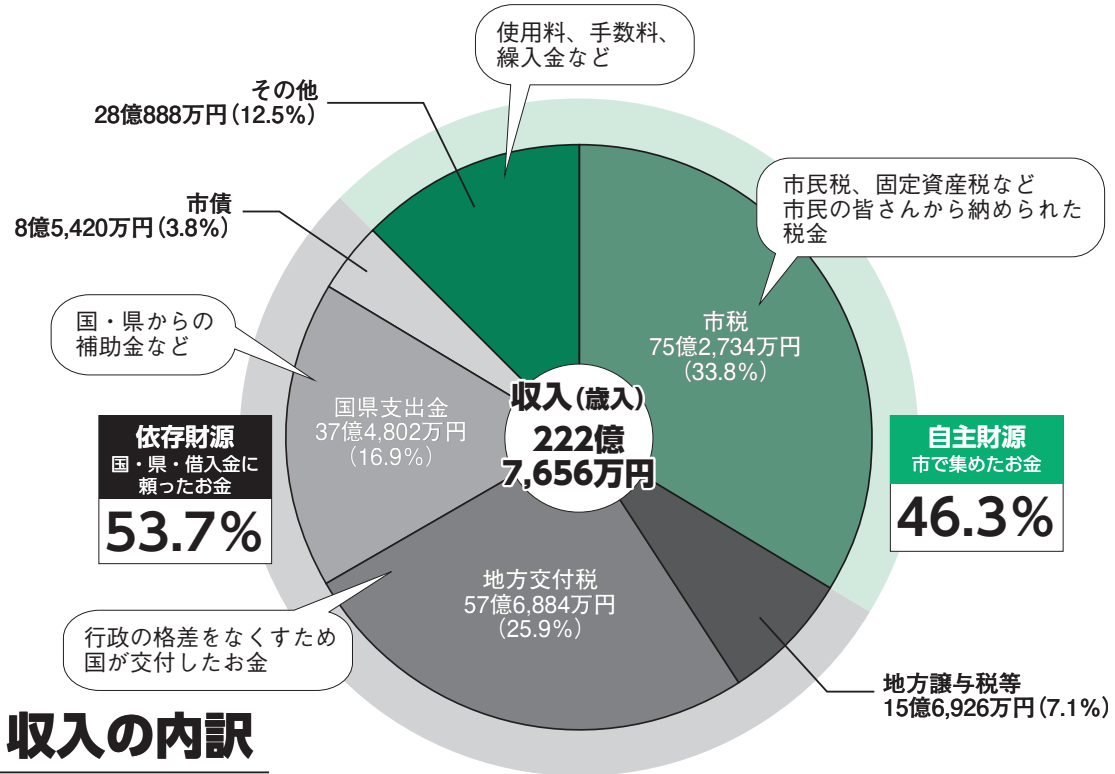
◆財政調整基金が77億円になりました

財政調整基金とは、経済事情や災害などで予期せぬ減収や支出を埋めるための貯金。



▲財政調整基金残高の推移

今後、一応の基金を確保しつつ、公共施設の整備基金に移行させ、適正管理していく。



収入の内訳

- ◆ 巡回バス(海南病院ルート)の検証は
 - Q 一日の利用者数と一運行当たりの平均は。
 - A 一日約23・3人で、一運行当たり約1・8人である。
 - Q 市の評価と市民からの意見は。
 - A 移動支援としての今後の巡回バス利用のきっかけになり、一定の役割を果たした。おおむね継続を望む意見と、一部に経由地が欲しいなどの意見があり、今後の巡回バス運行検討委員会で検討されると考える。
- 『その他の注目事業』
 - 市のPR映像制作
 - 青少年国際交流事業(サクラメント市など)
 - 防犯推進事業(LED灯への更新)
 - 災害対策推進事業(津波避難計画策定)
 - 佐屋児童クラブ整備工事(夏季休暇中の生活環境改善)

- 小中学校施設耐震化・環境整備事業(トイレ改修、非構造部材耐震改修)

一般会計討論

賛成討論

厳しい財政状況の中で、公共施設等総合管理計画を策定し、これからの公共施設のあり方や災害対策、市のPR動画や子ども達の生活環境改善などの取り組みが行われた。合併特例の交付税が縮減され、今まで以上に財源確保が厳しくなる中、計画的に積み立ててきた基金の運用も含め、持続可能な行財政運営を進めていく必要がある。

反対討論

基金が、157億円に増え、臨時財政対策債の借入れを当初予算どおりに行わず、国基準の行政サービスを行了たのか疑問が残る。高齢福祉・社会福祉施策の維持や拡大したがん検診など評価できる事業もあるが、子どもに対する施策は削減されているのではないかと。また、事業目的と事業評価の差があり改善が必要だ。

| 愛西市巡回バス 海南病院ルート | | | | | |
|-----------------|----|----|----|----|----|
| 愛西市役所行 | | | | | |
| 7 | 46 | 12 | | | |
| 8 | 21 | 56 | 13 | 16 | 51 |
| 9 | 31 | | 14 | 26 | |
| 10 | 06 | 41 | 15 | 01 | 36 |
| 11 | 16 | | 16 | 11 | |



▲愛西市巡回バス海南病院ルート

市政を問う



10議員が一般質問

一般質問とは…

議員が市の行財政全般にわたり、方針や執行状況、所信などを質問することをいいます。持ち時間は、議員1人あたり1時間です。

●定例会第2日目および第3日目に、10人の議員が一般質問しました。発言順に掲載します。

加藤 敏彦 議員(P12)

- ◆核兵器禁止条約の制定について見解は
- ◆学校プールの開放は公平に

山岡 幹雄 議員(P7)

- ◆経済の起爆剤として住宅リフォーム助成は
- ◆「立田ふれあいの里」の周辺整備は

竹村 仁司 議員(P13)

- ◆学校の適正配置を円滑に進めるための取組は

高松 幸雄 議員(P8)

- ◆市は公共施設縮減をどう考えるか

神田 康史 議員(P14)

- ◆子ども子育て支援に係る市の考え・方向性は

河合 克平 議員(P9)

- ◆佐屋北保育園の廃止は、白紙撤回せよ

大野 則男 議員(P15)

- ◆諸問題を解決するための指導保育士の導入は
- ◆将来に禍根を残す道路計画

吉川 三津子 議員(P10)

- ◆どうする、公共施設等の老朽化問題
- ◆高齢者の行方不明への対応の充実を

島田 浩 議員(P16)

- ◆災害時の市の初動体制は

真野 和久 議員(P11)

- ◆学校トイレ改修、エアコン設置計画つくれ
- ◆自主防災会に具体的な支援を



経済の起爆剤として 住宅リフォーム助成は

山岡 幹雄 議員

現段階では考えていない

産業建設部長

空き家対策の体制づくり、空き家対策計画、空き家措置の考えは。

市民協働部長 空き家等対策計画の基礎資料を作成のうえ、所有者に対するアンケート調査を実施し、県のガイドライン等を参考にしながら、空き家等対策計画の策定を行う。

地域の住環境の整備やまちの活性化につながる空き家バンク制度の導入の考えはないか。

市民協働部長 国が進める空き家バンク制度に参入したい。

市街化調整区域の住宅で都市計画法の緩和策はないか。

産業建設部長 都市計画法においては、空き家住宅に関する緩和策はない。

経済の活性化及び景気向上の起爆剤として、また事業者の安定経営、雇用の創出等に有効な手段として住環境整備支援事

業や住宅リフォーム助成制度導入の考えはないか。

産業建設部長 耐震改修事業を優先し、住宅リフォーム助成制度導入の考えはない。

「立田ふれあいの里」の周辺整備は

蓮見の会を、稲沢市のイチョウ祭りのようなイベントに出来ないか。

産業建設部長 蓮見の会は2日間だが、イベント後も仮設階段を残し、のぼりを立ててPRしていく。

立田ふれあいの里運営協議会からの寄付金の活用は決まっているか。

産業建設部長 寄付金3000万円の具体的な活用は決まっていない。

情報発信する観光拠点として、道の駅立田ふれあいの里を含めた周辺整備の考えは。

産業建設部長 美しい八

入田や肥沃な農耕地、豊富な農産物をテーマとする観光地として、道の駅を核とした観光拠点の整備に取り組み、魅力を高めていく。

市長 関係団体と協議し

検討する。

その他の質問

- 市職員の給料について
- 公立保育園のあり方について



▲観光拠点として整備される道の駅「立田ふれあいの里」(平成16年完成当時のパンフレットより)



市は公共施設縮減を どう考えるか

高松 幸雄 議員

30年間で30%の縮減に 取り組むことが必要

総務部長



▲教育委員会の方針において小中一貫校の設置が見込まれている立田中

愛西市公共施設等総合管理計画には、公共施設は30年間で30%縮減すると設定している。施設ごとの縮減計画対象はどれだけあるのか。また、優先順位が高い施設は。

総務部長 対象施設は129施設ある。計画上の優先順位は現在持っている。取り組める施設から長寿命化や縮減等を進めていきたい。

優先順位を検討し、計画的に施設の管理を行う必要があると思うが、計画策定の進捗状況は。

総務部長 現在、小中学校の適正規模を検討する愛西市立小中学校適正規模等検討協議会、公立保育所定員適正化及びあり方を検討する愛西市保育所等基本方針検討委員会が、今後の施設の運営方法のあり方について検討をしている。

佐屋中央保育園と佐屋北保育園の統合に関する地域説明会が開催されたが、統合が決まった理由は。

健康福祉部長 現在、佐屋中央保育園と佐屋北

保育園の2園を合わせた入所率は69.3%で、2園は2km以内の範囲にある。佐屋中央保育園の定員は160名で、統合した場合でも、定員数の中で保育所の運営が可能である。また、施設・建物も佐屋中央保育園が最も新しく、かつ面積的にも広い。これらを考慮したものである。

本市の保有面積の大部分を占める学校施設の建物の大半は、旧耐震基準の時期に建設され、建物の老朽化が想定される。

校舎老朽化対策や長寿命化の対策は。

教育部長 平成32年度までに策定する施設個別計画で、修繕計画や予防的保全対策を検討し、施設の長寿命化へ繋がっていく。

地震が発生した場合の避難所となる体育館や武道場の建築非構造部材の耐震化対策とトイレ改修工事及び空調設備の整備はどこまで進捗しているのか。

教育部長 建築非構造部材の耐震化は残り10施設

ある。残りの施設も、早期の対策実施に努めている。トイレ改修は、耐震化対策と並行して施設の老朽具合や臭気等の現状の問題を鑑みて改修事業を実施している。空調設備の整備は現在、耐震化事業やトイレの改修事業を最優先事項として実施しているが、取り組むべき将来的な課題として認識している。

市は公共施設縮減に係る課題をどのように考えているか。

総務部長 今後、30年間で公共建築物の約30%を縮減しなければ、市の財政は非常な危機に直面する。今後も持続可能な行政運営をするために、全職員が危機感を持って縮減に取り組む必要があると考える。



佐屋北保育園の廃止は、白紙撤回せよ

河合 克平 議員

協議、検討を進めていきたい 市長

公立保育園の運営に関する方針及び実施プランの重大な内容としては、

佐屋北保育園を廃園とする、また永和保育園は民間へ譲渡する、民営化するという内容が大きな問題だ。そのような重要な内容の方針を延べ5、6時間で決めてしまっているのか、非常に疑問であるが。

健康福祉部長 委員からは十分な意見をもらい策定をしている。

現場の視察を委員はしているのか。

健康福祉部長 視察は、実施していない。

大切な地域の子どものための保育の場を縮小、また民営化を行うにあたって、検討する委員会が現場も見ずに方針を決定したことは、非常に疑問だ。そういったことをせずに決まった方針・プランは見直されるべきだ。また、方針の中で保育の質は低下させないとしてい

るが、私は低下すると考える。低下させない具体的な方針は。

健康福祉部長 統合が実施されれば、現実の人的資源で特別保育事業等の向上が可能となる。こういった面で保育の質の低下にはつながらない。

特別保育をするために廃園をしないとできないというのは、市の怠慢であると思うが。

健康福祉部長 低下をさせないような努力は、今後もしていきたい。

地方自治法では、公の施設の廃止について、条例で定める特に重要なものについては議会の承認を得なければならないとされているが、特に重要な施設という認識であるのか。

健康福祉部長 特に重要なものと捉えて、保育園の設置条例が定められている。当然、議会の議決が最終的に必要になる。保育所の施設がなく

なってしまう地域で、より一層の過疎化で、住み・移り住むという気持ち薄れてしまうということを非常に憂慮するが。

健康福祉部長 子育て世帯包括支援センターや子育て情報発信など、市の子育て応援プランに掲げるソフト面の充実で人口減少の抑制を図る。市の方針を見直すこと

が必要ではないか。

市長 民間・公立は関係なく、責任を持って保育環境をつくっていかねればならない。今回のことも踏まえ協議、検討を進めていきたい。

その他の質問

●子ども医療費無料化を拡大して

●ゴミの減量について



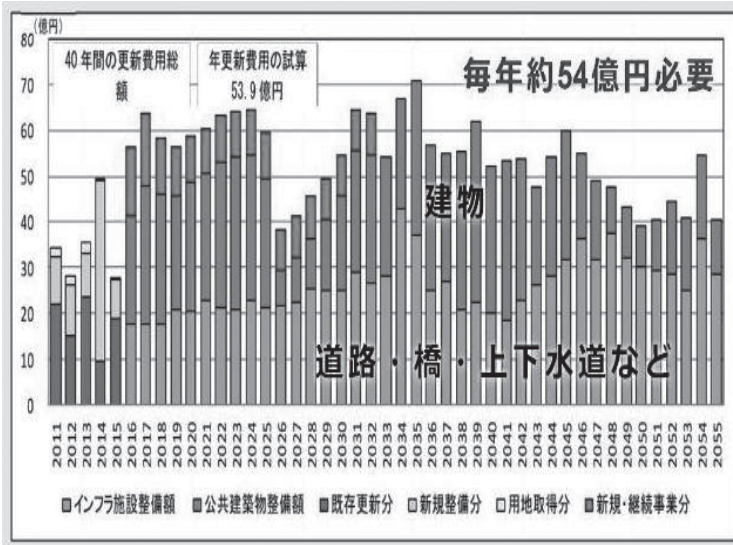
▲廃園予定の佐屋北保育園



どうする、公共施設等の老朽化問題

吉川三津子 議員

延べ床面積を3割削減する 総務部長



▲市が分析、今後40年の公共施設等更新費

建物の大規模改修・建替・新築、道路・橋・上下水道の改修で、この先40年間で約2158億円必要であり、毎年約54億円必要と市は分析した。どのように準備していくのか？

総務部長 年間54億円は、建替を築60年、大規模改修を30年で試算した。それに対し、築20年と60年で予防保全修繕を行い、40年で大規模改修、80年で建替とした場合、30年で延床面積を3割減らせば、年間31億円の歳

出で済む。合併後12年の普通建設費の平均は31億円であることから、この目標を設定した。早急に統廃合・売却等、施設のあり方を定め、財政調整基金・公共施設整備基金・公共施設等適正管理推進事業債を活用して進める。

この事業債は、合併特例債ほど有利な借金ではない。高齢者・子育て支援が重要な中、これで行っていただけるのか。

総務部長 施設の老朽化が今後財政を圧迫するので

蟹江町はじめ、他の自治体でもSOSネットワークを進めている。市でも、防災メール・防災無線で情報発信をすようにになった。仕組を

健康福祉部長 条件を満たした方については、情報発信をしている。広範囲にこの制度の周知をしていく。



▲地域での助け合いが大切(サロンにて)

あるという話だが、この数字に大変驚いている。できる限り施設の集約化・複合化事業を進める。

高齢者の行方不明への対応の充実を

その他の質問

●不審者情報を防災無線で伝えよ

●財政調整基金貯めすぎ

●道路行政の改善を



学校トイレ改修、 エアコン設置計画つくれ

真野 和久 議員

箇所をはっきりさせて計画的に進める 市長

学校トイレの洋式化・改修、普通教室へのエアコン設置の状況は。

教育部長 トイレの洋式化率は、小学校が30・6%、中学校が30・1%。普通教室へのエアコンの設置は、佐織中学校以外の小中学校については未整備。

今後の改修計画は。また、どのくらいの期間で終えるのか。

教育部長 トイレ洋式化事業は、校舎はもとより、体育館、武道場なども含めると膨大な数となる。見通しは立っていない。ただ、毎年度事業実施ができるよう努めていきたい。エアコンの設置に関しては、将来的な課題。補助金頼みでなく、一定の範囲の中で計画しながらやっていくことが重要だ。「愛西市は一体どうなっているんだ」という声は非常に強い。計画を立てることについて市長に尋ねる。

市長に尋ねる。

市長 計画を持って推進していかなければならない。エアコンについては、児童・生徒数が減少している中、普通教室が1校にどれくらいあるのか、現状と今後の見通しを学校サイドと協議して、適切な整備教室数を把握した上で計画を策定し、進めていくことが必要だ。

トイレ改修も同様に、計画的に進めていきたい。

自主防災会に 具体的な支援を

高齢者など移動が難しい方にとって、現在の自主避難所は大変遠い。コミュニティセンターや公民館で開設出来るよう、町内会や自主防災会などへ協力依頼を検討しては。

市民協働部長 「コミュニティセンターを自主避難者受け入れ施設として増やすことも、災害の様相に応じて必要だと考えて

いる。町内会や自主防災会に自主避難者を受け入れてもらうことは現在のところ考えていない。

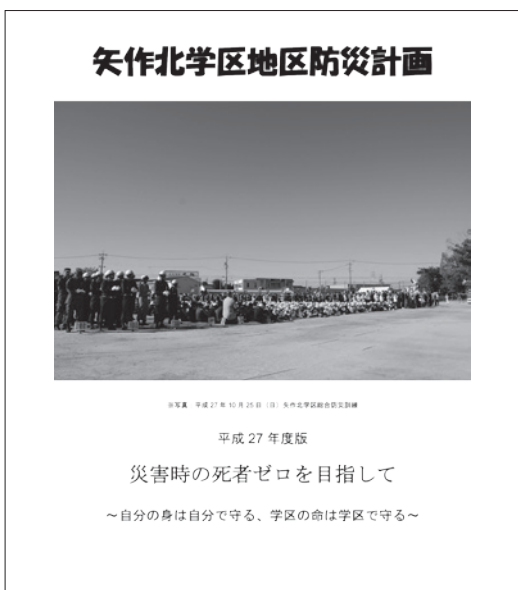
町内会、自主防災会、コミュニティ推進協議会が、自主避難者を受け入れる体制を整えていくという事は可能か。

市民協働部長 町内会などがルールづくりをして、自主的に受け入れることは、拒むものではない。

幾度となく自主防災会

の連絡会をつくるよう提案してきた。自主防災会が動くよう具体的な支援が求められているのでは。より具体的な行動を考えていく地区防災計画の作成を働きかけては。

市民協働部長 小学校区単位で連合組織を形成し、広域に事業ができるよう考えている。地域の事情に応じて決める地区防災計画については、今後、地域で計画があればサポートしていきたい。



▲岡崎市矢作北学区の地区防災計画書



核兵器禁止条約の 制定について見解は

加藤敏彦 議員

大変意義のあることだ

市長



▲核兵器廃絶国際署名のポスター

国連は、7月7日、核兵器禁止条約を122カ国の賛成で採択した。人類史上初の核兵器禁止条約の採択は、日本の被爆者をはじめ、核兵器のない世界を求める世界各国と市民社会の多年にわたる協働の取り組みが結実した、文字どおり歴史的な壮挙である。非核平和都市宣言を行っている愛西市の長として、どのような見解か。

市長 平和首長会議並びに日本非核宣言自治体協議会に加盟する本市にとっても大変意義のあることだ。ぜひこの宣言を実現していただきたい。日本政府が、唯一の被爆国の政府であるにもかかわらず、核兵器禁止条約に背を向ける態度をとっている。特に被爆者や被爆地からは厳しい表明があった。市長としてどう思うか。

市長 第9回平和首長会議総会にて、「核兵器禁止条約の早期発効を求める特別決議」をしている。我々としてはしっかりと

かり支持をしていきたくていきたいと思います。

今年の平和祈念式の平和講演で、95歳の松永一雄さんが、過酷な戦争体験を語られた。このような貴重な体験を保存できないか。

企画政策部長 平和講演の保存については、講演者並びに遺族会との協議により、今年度は保存をすることを承諾していただいた。今後は、講演者の意向を第一に、活用を

学校プールの開放は公平に

佐屋地区に一極集中するような形でプール事業が進められている。今の学校プールの開放のあり方は公平ではないと考えられる。市長の見解を伺いたい。

市長 現状としては、佐屋小学校のプール開放事業をお願いをしたい。



▲佐屋小学校のプール開放



学校の適正配置を 円滑に進めるための取組は

竹村 仁司 議員

年内には地区説明会を開催したい 教育部長

昨年9月に「愛西市立小中学校適正規模等基本計画の提案」が提出された。適正規模による効果だが、どのような意見交換の中から導き出されたのか。

教育部長 保護者等へのアンケートや地域懇談会での意見にあった、児童・生徒の人数及びクラス数が少ない、クラス替えのできる規模にしてほしい、部活動の選択肢が少ないなどのデメリットの解消を念頭に置き、検討協議会で協議・検討してもらった。

デメリットの解消については、この提案の中でも上げられている多様な学習形態を取り入れた教育が可能になる。そこで、少人数学習、習熟度別学習の効果についての認識は。

教育部長 適正規模の学校であるなら、少人数の振り分け方の変化や習熟度に応じたグループ分け

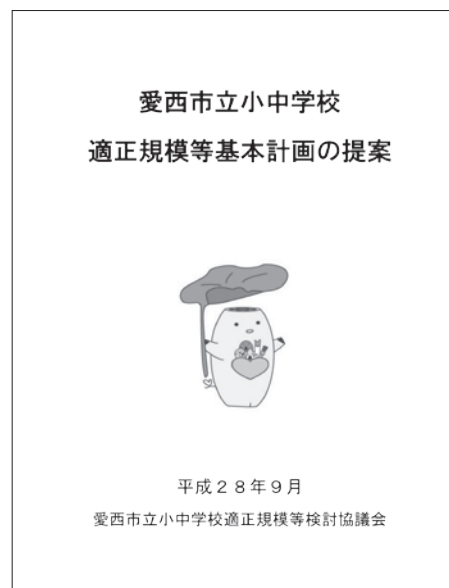
をしての学習形態がとれるということがメリットであると認識している。市内の小中学校において、少人数学習、習熟度別学習の導入は。

教育部長 少人数学習については、現在5校、永和小、佐屋小、立田北部小、北河田小、西川端小が取り入れている。学校ごとに進め方の違いはあるが、全てで算数において少人数学習を取り入れ、立田北部小は国語においても少人数学習を行っている。毎年協議を行い、その学年に適した学習形態について考えている。習熟度別学習においては、佐屋小以外は導入していない。

基本計画の提案の中では、この統合案は望ましい順とある。望ましい順というのは、統合案の1番目、施設一体型の小中一貫校が一番適正規模になるとの提案だ。そこで、この案が一番望ましい理

由と、通学距離などを含む幾つかの課題について伺う。

教育部長 まず施設一体型の小中学校が一番望ましいということ、現段階では決まっていない。通学距離等を含む諸課題については、方向性が決まってるから議論することになっていく。市立小中学校適正規模等基本計画の提案を受けて、市長が思い描いている愛西市の小中学校教育とは。



▲小中学校適正規模等基本計画の提案書

市長 子どもたちにとってどういった学校教育、学校環境が一番良いものなのかということ念頭に検討を始めてもらいた。子どもたちがまず安全で安心して通えるよう、そして何よりも子どもたちが行きたいと思える学校をつくってもらいたい。多くの友達・仲間をつくり、「小学校、中学校は楽しかった」と話せるような学校をつくってもらいたいと思ってる。



子ども子育て支援に係る市の考え・方向性は

神田 康史 議員

今後の事業のありかたを 考えていく

健康福祉部長

公園遊具の管理は。

健康福祉部長 都市計画課の所管である都市公園は5カ所、農村公園・その他公園は9カ所、児童福祉課の所管の児童公園は18カ所、ちびっこ広場は5カ所あり、遊具の点検等の管理体制は、点検を委託し年6回実施している。健全であるとされるA判定から緊急修繕が必要とされるD判定までの4段階で報告を受け、D判定の場合は、即使用禁止とし、修繕等の対応を取ることにしている。

C判定以下の遊具については、優先度を考慮し、順次改修している。公園の利用者・市民から遊具の破損・異常通報があった場合、速やかに当該遊具を確認し、必要な対処をしている。

善太川通学路の防犯対策は。

教育部長 通学路の利用者数は、永和小学校140人、永和中学校79人だ。下校時の防犯に関しては、学校の先生・保護者・交通指導員・子ども110番の家・スクー

ルガードの皆さんに協力していただいで対応している。

平成23年度より防災等情報メール配信システムにて保護者に連絡しており、この地域の防犯情報メールの配信履歴はない。永和小学校、永和中学校に問い合わせたところ、当該地区で被害にあつた児童・生徒の記録はない。

県内全域の小中学生対象の「子どもの貧困調査」の圏域別貧困率が発表された。全国平均13.9%

のところ、海部地区は5.3%である。全般的に愛知県は裕福であるといえる。当市の子どもの貧困への対応策は。

健康福祉部長 保護者への就労支援と経済支援を行っている。前者として、自立支援教育訓練給付金、後者として児童扶養手当や母子・父子世帯に対する保育料の軽減や児童クラブ利用料の免除がある。児童に対しては、

必要保護児童生徒就学援助事業により学用品等の援助、また子どもの対策

を考察するため、社会福祉協議会と児童福祉課で本年7月29日と8月19日に試行的に子ども食堂を開催した。内容は、①キッチンカーでの昼ご飯の提供②宿題をする学習時間やすいか割り・竹細工な

どを実施した。「楽しかった」「またやってほしい」というような感想も聞かれた。子どもの孤食・食事内容などの状況を把握し、今後の事業のありかたを考えていく予定だ。



▲遊具の破損はすぐに通報を！



諸問題を解決するための 指導保育士の導入は

大野 則男 議員

現在の児童福祉課で対応する 健康福祉部長

保育事業の答申について、4回で4時間ほどの議論での結論では、あまりにも乱暴ではないか。

健康福祉部長 今回の方針作成に当たり、検討委員会での答申が固まったのち、1カ月間のパブリックコメントを実施し、22件の意見があった。

今回の答申は、市内の幼児教育、保育施設の事情あるいは課題など、市の将来を見据えて策定した。

説明会において反対意見が多い中、立ち止まって検証されるのか。また、諸問題の解決において、指導保育士や専門的な知識を持った者を設置し、解決する考えは。

健康福祉部長 方針の内容について、理解してもらい、意見を聞き、一つ一つ答えるのは難しい。負担が生じるとすれば、負担をいかに軽減するか考える。指導保育士については、児童福祉課の中

に園長経験者もおり、保育業務の指導・助言から研修計画・指導まで、相談役として十分機能している。

将来に禍根を残す 道路計画

道路新設改良工事について、予算は可決されたので問題はないとする議員もいるが、本来あるべき姿で進めるべきだ。要望書の通学路と交通量に問題はなにか。

産業建設部長 本部田道路改良事業で、再度8月21日付けで要望書の提出があった。「利用する通過車両が多く、道路幅が狭く大変危険な状況であり一部学童も通る道路」となっている。現状では、児童は通るが通学路の指定はない。交通量は朝夕の時間帯に通過車両がある。

県の補助金を利用して事業を進めるといって、

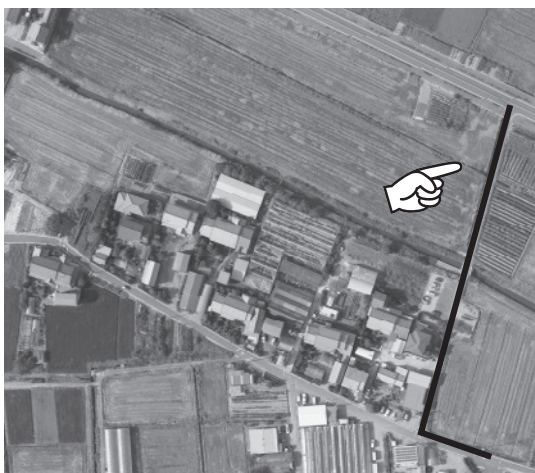
県は認定をしたのか。

産業建設部長 平成31年度に認められるかは分からないが、実施できる予定となっている。

道路改良事業は、実施計画の中に場所、金額が記載をされ行はずだが記載されていない。道路計画は基本的に立てて行くという話だが、今後の動きは。

副市長 道路整備事業は、幹線道路や危険箇所

のある道路を中心に計画的に進めていきたい。そして実施計画書については、3年計画のローリング方式で実施計画書に必ず記載することとし、期限、財源、プロセス、区間等を明らかにして進めたい。一方で、地域要望は行政にとって大切だが、すべてを受け入れることは困難だ。現地を確認し、優先順位をつけ事業を推進していきたい。



▲改良される本部田町地内道路(太線部分)

災害時の市の初動体制は

島田 浩 議員



総括部を立ち上げ 現状把握・情報提供を実施 市民協働部長

8月7日に和歌山県に上陸した台風5号は全国各地で記録的な雨量となった。市民一人ひとりの意識を高めるためにも、市において平常時の啓発だけでなく、豪雨が起った場合に対応した初動体制の確立、迅速な情報提供、関係団体との連携は必須。今回の台風5号上陸において、市が初動体制として行ったことは。

市民協働部長 地域防災計画に基づく第一次非常配備体制により対応。市

長を中心とした幹部会において対応を決定し、自主避難者受け入れ施設4カ所の開設と同時に、巡回班による市内巡回、情報班による住民や関係機関からの情報収集、調査班による道路冠水や河川の現状把握を行った。また福祉班により自主避難者の状況を逐次把握し、避難所開設に向けての対応も検討。広報班では市民への情報提供として、市の同報無線による放送、防災メールの配信、ホームページへの掲載、広報

車による広報、FMななみの放送、ケーブルテレビのし字放送等で逐次情報を提供した。報道機関への市の状況を情報提供するなどの対応も行った。学校等における子どもたちの安全確保は。また保護者への引き渡し方法は。

教育部長 児童・生徒の登下校についての文書を毎年4月当初に保護者に配布して周知を図っている。帰宅が困難な場合は、校内の安全な場所に待機させ、保護者の引き取り

があるまで学校で預かる。また、保護者に対して市内の状況や子どももの引き渡し方法などの情報提供に、小中学校のホームページや緊急連絡、安心メールを活用している。

市民協働部長 台風などは、今回の台風5号と同じように、早めの自主避

難を呼びかけている。自主防災会へは、同意のあった方の避難行動要支援者名簿を活用することにより、安否確認や避難対策をお願いしている。しかし突発的な豪雨が発生した場合においては、屋外に出ることや他の施設に避難することは高齢者にとってはかえって危険と考え、避難準備・高齢者等避難開始の発表についても、夜間等は時間帯を考慮しながら発表していきたいと考えている。

豪雨災害を教訓として、見直す部分や新たに対応を加える部分があるのか。

市民協働部長 職員防災教育や研修を実施。災害対策本部員の図上訓練などを行い、災害対応能力の向上に努めていきたい。

今回の台風5号 や最近の突発的な



▲防災無線の屋外スピーカーと市役所の放送室

愛西市議会だより、高評価をいただきました

町村議会広報研修会で、クリニックを受けました

名古屋市のアイリス愛知で、議会だより編集についての研修会があり、広報委員6名が参加しました。

ここ数年、わが議会だよりを持参しクリニックを受けてきましたが、手

厳しい評価を受け続け、その都度頑張つて改善してきました。その成果もあり、今回のクリニックでは、次のような評価をいただきました。

◆愛西議会だよりの評価



①表紙の写真がよい。今後、写真の説明文の工夫が課題だ。

②予算に関する特集ページは、写真

やグラフ、見出しが大きく、インパクトがあり、ふさわしいレイアウト

になっている。

③「議論の中から新発見」は効果的な見出しだ。

④最終ページの議員自らが取材している企画は、好企画だ。

昨年から比べると大きく変わった。直感的に伝わる写真、イラスト、図表を大きく扱いビジュアルな紙面構成も増してきていると評価されました。

◆伝える議会だよりから伝わる議会だよりへ



子どもも議会傍聴ができるようになりました

他の自治体で小学生の議会傍聴を認めなかったことが、社会的問題になりました。

愛西市議会では、子どもも傍聴できるよう傍聴規則を改正しました。

◆◆意見書◆◆

今定例会で次の意見書が採択されました。

■国への意見書

- ▼定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書
- ▼国の私学助成の増額と拡充に関する意見書
- ▼道路整備予算の確保及び道路整備に係る補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書

■県への意見書

- ▼愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書

平成29年9月定例会 議案審議の結果と議員の賛否

○：賛成
●：反対

| 会派 | 審議結果 | 新生愛西クラブ | | | | | 愛西クラブ | | | | | 日本共産党愛西市議団 | 公明党あいさい | 無所属 | | | | | | | | |
|----------------------------|------|---------|-----|-------|-----|------|-------|------|------|-----|------|------------|---------|-----|------|------|------|------|------|------|-------|---|
| | | 鷺野聡明 | 島田浩 | 石崎たか子 | 八木一 | 鬼頭勝治 | 大島一郎 | 神田康史 | 杉村義仁 | 近藤武 | 山岡幹雄 | 堀田清 | 大宮吉満 | 大島功 | 大野則男 | 真野和久 | 加藤敏彦 | 河合克平 | 竹村仁司 | 高松幸雄 | 吉川三津子 | |
| 議案 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成29年度一般会計補正予算(第2号) | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ● |
| 平成28年度一般会計歳入歳出決算の認定 | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ● |
| 平成28年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定 | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 平成28年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定 | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 平成28年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定 | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 平成28年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定 | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 平成28年度水道事業会計決算の認定 | 可 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 子どもの医療費無料化の拡充を求める請願 | 不 | ● | ● | ● | ● | ● | 議 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※審議結果の「可」は可決、「不」は不採択です。その他の議案は全員賛成。

※「議」は議長で採決に加盟していません。

第8回 取材しました!

愛西市学校生活適応指導教室「すまいる」 ～学校に行きたくても行けない児童生徒のために～

今回は「すまいる」を訪問させていただき、伊藤明雄先生と石垣紀子先生にお話を伺いました。

「すまいる」は、市江地区コミュニティセンター内の西側にありますが、大きな看板もなく出入口も別になっているので、お気づきの方も少ないのではないのでしょうか。



Q. 「すまいる」はいつできたのですか。

A. 平成20年9月に開設されました。

Q. 子どもたちが入室するようになるきっかけは。

A. 学校からのお知らせを見たり、学校の先生と相談して入室します。

Q. 「すまいる」の目的は。

A. 個々によって、問題も複雑化しており、居場所としての役割や児童生徒・保護者からの相談窓口の役割も果たしていますが、学校への復帰を目的としています。

Q. 子どもとの関わり方で工夫していることは。

A. 子どもによって課題が違いますので、毎年運営のしかたも工夫しています。目的がみえなくなった子には、個々に望むことを慌てず聞き、共に考えるようにしています。とにかく、外に出ること、本人が笑顔になること、ここに来ることが大切だと思っています。

Q. 課題はありますか。

A. 昨年度中学生11名が卒業しました。「すまいる」は小中学生のための教室です。中学校を卒業してから不登校やひきこもりになってしまう子どもたちを、誰がどのように見守っていくのが課題です。

(取材：真野・吉川)

平成29年12月定例会の開催日程(予定)

12月定例会は、

11月29日(水)から12月22日(金)

までの会期で開催予定です。

- 本会議は午前10時から開催します。
- 日程は変更になる場合もありますのでご了承ください。
- 詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

11月29日(水) 本会議(招集日)議案上程

12月 5日(火) 本会議(第2日)一般質問

12月 6日(水) 本会議(第3日)一般質問

12月11日(月) 本会議(第4日)議案質疑

12月13日(水) 総務協働委員会

12月14日(木) 福祉消防委員会

12月15日(金) 建設文教委員会

12月22日(金) 本会議(最終日)討論・表決

編集後記

3年半前の改選後、議会だよりの充実を目指して、各地に視察に伺ったり、クリニックを受けたりしてきました。

そして、その学びから、特集ページを作ったり、行政用語から市民の方々が親しみやすい表現に変えたり、写真を増やしたり、議員自らがインタビューに出かけたりと改善をしてきましたが、みなさん、いかがでしょうか。

まだまだ発展途上ですが、議会だよりは市民の方々と議員をつなぐ大切な役割を果たしているとの認識のもと、頑張って参ります。

(吉川三津子 記)

委員長 高松 幸雄
副委員長 山岡 幹雄
委員 八木 一
真野 和久
吉川三津子
近藤 武